

令和7年7月20日執行

旭市長選挙公報

旭市選挙管理委員会

「来た道」(こども)と「これから行く道」(高齢者)を守る、 自分ごととして。

「自分ごと課」設置

真摯に市民の声に耳を傾けることは、行政を進めていくうえでの基本。市民の望んでいることを、自分ごととして受け止め、問題解決に邁進していく課。



食育と命の教育

旭は農業産出額が全国屈指のまち。たくさんの命をいただいて、成り立っているまちだからこそ、食糧安全保障も含めた食育と、命の大切さ、命を守ること、地球を守ることを、みんなで学び合う。

「大原幽学中学校」創設

米騒動で見た日本の農業政策の脆弱さや、議員、教師等の倫理観の欠如による社会の荒廃は、私たち世代の責任。旭の先人、大原幽学。今、その教えを旭の子どもたちに紐解く絶好の時。

「国家戦略特区」活用

成田空港周辺国際物流拠点整備に伴い、県全域が特区に指定され、規制緩和による国際力の強化中。成田旭間の直通路線や、旭市立中学校の国際化、空港クルー誘致ベッドタウン構想等、農水産物の輸出はもとより、まちの機能としての国際化を計る。

防災避難計画の見直し

高齢者・要支援者は速やかな避難が難しい。市民個別避難カルテを集積し、避難での問題点をあぶり出す。「つなみてんでんこ」教育、避難タワーの増設、避難道の拡充、津波対策ドローンの活用等、早急に取りかかる。

コミュニティバスの無料化

バスを走らせる経費は、年間8000万円。利用者からの収入は年間800万円。満席で走っても、空っぽで走っても、8000万円かかるのなら、利用者負担を無しにして、バス停をスーパー、学校、公民館、文化会館、公園前にすれば、まちの経済が動く。減災林計画2500万円の内残り4年分の予算で、バス運賃収入(年間800万円)の少なくとも2年半分は賄える。コミュニティバス無料化の実証実験をしながら、市内経済活性化、高齢者の外出支援、部活動移動支援ができる。



戸村ひとみ

無所属

プロフィール

- ・日本女子大学英米文学科卒、同年私立保育園開園(浦安市)
- ・浦安青年会議所会員、浦安シーサイドライオンズクラブ会長
- ・4期14年浦安市議会議員、現在、旭市議会議員、旭市会社役員、旭こども応援隊 隊員

公式サイト

asahi-nigiwai.net/



活動報告ブログはこちら▶

みんなで創る未来 ず〜っと大好きなまち旭 ~健康で心豊かな暮らし“ウェルビーイング”[※]の向上~

※心身と社会的な健康を意味する概念

- ①魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちへ
- ②子育て世代を全力支援！希望がかなう旭市へ
- ③住みたくなる、帰りたいくなる、
つながりのある旭市へ
- ④将来にわたり
安全安心して暮らせる
持続可能なまちへ

米本やいちろう プロフィール

昭和36年(1961年)3月生
 共和小学校・第二中学校卒業
 千葉県立旭農業高等学校卒業
 千葉県(現 千葉県立)
 農業大学校卒業
 放送大学卒業
 同 大学院修士選科生
 旭市議会議員 2期
 旭市長 1期



米本やいちろう

令和7年7月20日執行

旭市長選挙公報

旭市選挙管理委員会

旭市長選挙

投票日

7月20日(日)

投票時間

午前7時～午後8時

- 投票所入場整理券に記載してある投票所で投票できます。
- 投票所入場整理券を万一紛失した場合でも投票できますので、投票所の係員に申し出てください。

期日前投票

7月19日(土)まで

午前8時30分～
午後8時

旭市役所・海上公民館・旭市保健センター・ひかた市民センター

上記のどの投票所でも投票できます。

備考：この選挙公報は、候補者から提出された原稿を印刷したものです。